

車両停車帯の整備について【国道 329 号沖縄市高原南バス停（北中城村向け車線）】

～ 快適にバス利用ができるように『遮熱性舗装』を行いました ～

【整備箇所】



【整備前】

- ・バス停車時において後続車両の通行を阻害
- ・狭いバス待ちの空間
- ・屋根の無いバス停



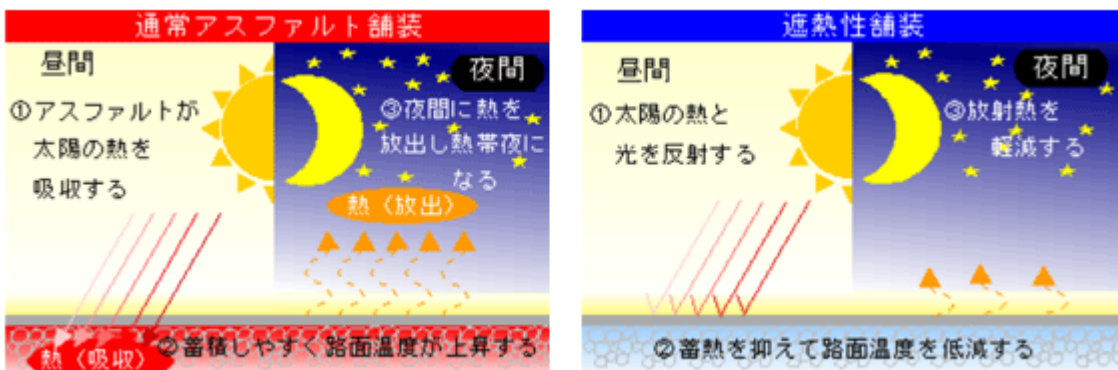
【整備後】

- ・遮熱性舗装による路面温度の低下（5～10℃の路面温度低下が見込まれます。）
- ・遮熱性舗装によるカラー化（バス停が視覚的にも区別できるようになります。）
- ・バス停上屋の設置（太陽光、降雨を遮ることができます。）
- ・歩行空間の広幅員化（2m→4mに拡幅し、歩きやすくなります。）
- ・道路交通の円滑化（バス停車帯を設置し、交通がスムーズになります。）



【遮熱性舗装とは？】

遮熱性舗装は、日射エネルギー量の約半分を占める近赤外線を高反射して、舗装路面の温度上昇を抑制する舗装です。一般の舗装よりも表面温度の上昇を抑制できるため、歩行者空間や沿道の熱環境の改善、ヒートアイランド現象の緩和が期待されています。



(遮熱性舗装技術研究会ホームページより)